

## 思いやり

助けが必要な人に思いやりを持ち、行動する大切さを子ども達に伝えていきたいと考えています。自分より年齢が小さいだけでなく、目が見えない人や耳が聞こえない人など、サポートが必要な方々には、特に言葉だけでなく、親として自ら進んで声を掛け、行動する姿を見せています。その姿を通じて、子ども達が自然と思いやりの心を持ち、行動に移せるようになることを願い、お手本となる自分でいたいと思っています。



## 自分で考える力を

私は小学3年生女子の父親です。

小学校はもちろん社会組織であり、大小様々なグループで構成されています。その中であつては、一人ひとりの子どもが自分の意思を尊重してもらえる機会が多くないと思います。ですので、家庭においては、なるべく子どもが自分で考えてものごとを決められるように接しています。

自分で決めたことの結果が良くても悪くても、それを受け入れていく経験の積み重ねが、本人の人生にとって価値あるものになると考えています。

ふんふん



これからの時代、AIなどの技術が進化し、これまでとは異なる力が求められます。AIが課題を解決する一方で、課題を見つける「課題発見力」は人間にしかできません。

例えば、「セミの寿命は7日間」という常識を疑

## 愛を伝える♡

「いつてらっしゃい、愛してるよ」ぎゅっ。毎朝このルーティーンで学校に送り出しています。

娘19歳、息子17歳。

どんなに腹立たしいことがあつたとしても伝えられています。結果、送り出した後は爽やかな気持ちになれていることが多いです。

冴えない気持ちを帳消しにしてくれる、

「いつてらっしゃい、愛してるよ」ぎゅっ。

それは昔で言う火打石のような役目も含んでいたりするかもしれません。

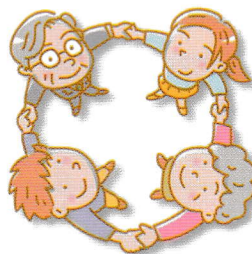
「無事に帰ってくるんだよ」

一応大学卒業までは繰り返し伝えていきたいと思つています。

変態かもしれませんが、フフ（笑）

## 言葉と心

私は結婚前に耳が聞こえなくなつたので、子ども達は生まれた時から「聞こえないママ」を見て育つて来ました。テレビには字幕、映画や舞台も字幕や文字サポートを受けるのが当たり前。最近はその話やアナウンスを音声認識アプリで聞いて（読んで）いるのを見えています。



そんな娘に「〇〇先生が学校で日本語のわからない生徒や保護者が増えて悩んでるらしい」と話したところ、「ママが使ってるUDトーク※、教えてあげればいいんじゃない？」と。そっか、このアプリ、聞こえない人のためだけにじゃなくて、外国語にも変えられるから、そういう使い方ができるの

に、知らない人は知らないだね。耳も聞こえ、

情報伝達にも幅広く使え、役所の窓口などでも利用され始めている。練馬区では毎年の「成人を祝う会」で導入している会場でも配信でも日本語・外国語の字幕を見ることができるようになっている。今後、区内の小中学校での授業、行事、保護者対応などでの活用が期待される。

## 「大泉まちの子ども食堂」

毎月第2土曜日は子ども食堂の日です。

12時から開始ですが、早くから待っている子ども達があります。

現在、席数を増やす工夫をしていますので、楽しみにしてください。

又、子ども食堂ではフードドライブも行っていますので、ご家庭で余っている食品がありましたら、いつでもお持ちください。

実施日：毎月第2土曜日開催

受付開始：12時～なくなり次第終了（35食位）

※アレルギー対応はしていません

住所：大泉学園町5-6-17

「まちの駅大泉学園」

電話：03-3978-0207